

平成28年度（ 技術・家庭科 技術分野 ）

授業改善推進プラン

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充・発展的な指導計画
1 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○説明、話し方のスピードや話し方</li> <li>○質問などへの対応</li> </ul> <p>毎年の評価からの改善による改善傾向はあり、比較的高い評価はしてくれているが、まだまだ、改善・努力の必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ポイントを明確にした説明の短縮化</li> <li>○生徒一人ひとりへの対応する時間の捻出と対応方法の検討</li> <li>○時間内で理解しきれなかった生徒の把握と対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小テストの実施による理解度の把握</li> <li>○理解しきれない生徒への補充教室(作業)の実施</li> </ul>
2 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○説明方法(話し方)の工夫</li> <li>○板書の工夫</li> <li>○指示、提示</li> <li>○事前指示の徹底</li> </ul> <p>改善傾向はあるが、昨年度と同じ部分での指摘はある。こちらの思う部分と受け取る側の差を埋める必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ポイントを明確にした説明の短縮化</li> <li>○図や提示物の工夫</li> <li>○係生徒の活動を通した学級への連絡・指示の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小テストの実施による理解度の把握</li> <li>○理解しきれない生徒への補充教室(作業)の実施</li> </ul>
3 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○説明方法(話し方)の工夫</li> <li>○板書の工夫</li> <li>○指示、提示</li> <li>○事前指示の徹底</li> </ul> <p>全体的には高い評価であったが、上記の点についてさらなる努力が必要とされる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ポイントを明確にした説明の短縮化</li> <li>○図や提示物の工夫</li> <li>○係生徒の活動を通した学級への連絡・指示の徹底</li> <li>○授業数が少ない事への対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○プリントの活用</li> <li>○理解しきれない生徒への補充教室(作業)の実施</li> </ul>

平成28年度（ 技術・家庭科 家庭分野 ）

授業改善推進プラン

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充・発展的な指導計画
1 年	○説明方法（話し方）の工夫  ○指示の工夫	○ポイントを丁寧かつ明確に話をするよう心がける。  ○指示の仕方の工夫として、黒板だけでなく、布見本の提示や拡大した紙の掲示など視覚に訴え、善し悪しが分かるようにしていく。	○作業が遅れ気味の生徒へは、放課後を使った補充教室を実施していく。  ○振り返りシートで、自己評価（作業の取り組み・作業の理解度）をさせ、生徒自身にも確認させていく。
2 年	○説明方法（話し方）の工夫  ○指示の工夫  ○板書の工夫  ○作業進度が早い	○ポイントを丁寧かつ明確に話をするよう心がける。  ○指示の仕方の工夫として、黒板だけでなく、布見本の提示や拡大した紙の掲示など視覚に訴え、善し悪しが分かるようにしていく。  ○作業時間にゆとりをもたせ、じっくり取り組めるようにする。	○作業が遅れ気味の生徒へは、放課後を使った補充教室を実施していく。
3 年	○説明方法（話し方）の工夫  ○指示の徹底 1) 授業内容 2) 次の授業の指示	○ポイントを丁寧かつ明確に話をするよう心がける。  ○授業時数が少ないため、期末考査と兼ね合いも含めた授業計画を行う。	○プリントの活用。  ○3回分の授業計画を事前に発表し授業の見通しをもたせる。